

ホ ッ ケ ー

専門委員長 福 井 健 持



令和元年12月に行われた全国選抜では、阿南光高校が佐賀県伊万里商・伊万里実業に競り勝ち2-1で19年ぶりに、初戦を突破しました。ベスト8を狙い、鳥取県八頭高校と対戦しましたが、1対9で敗れました。試合開始早々に失点してしまい、慌ててしまったことと、守らず攻めにいったことで大差がつきました。反省点もありますが、内容は良い部分もたくさんあり充実した全国大会となりました。

今年度は緊急事態宣言のなか、各種大会が中止となりました。多くの3年生部活動部員は、集大成の発表の舞台がなく引退していく現実もありました。ホッケー専門部では、富岡西高校の部員数・練習量・熱中症予防を加味し県総体代替大会を6人制で実施しました。感染予防にも努め7月に無事開催することができました。阿南光が2対1で富岡西に勝利しました。早い段階で阿南光が先制点を奪い流れをつかんだかに思われましたが、追加点を取れず一進一退の攻防が続くなか、富岡西が得点し1対1とお互い一步も譲らない展開になりました。阿南光が追加点を挙げ2対1で決着しました。富岡西高校の3年生はこれで引退する生徒もいましたが、大会ができて本当に良かったと感じました。四国選手権大会・インターハイが中止となりましたが、この日ホッケー場は久

しぶりに熱気にあふれ、熱い1日となりました。令和2年10月徳島県選抜ホッケー大会では、4-0で阿南光が富岡西に勝利しました。富岡西は部員不足のため未経験者に協力を募っての出場でしたが、試合時間いっぱい戦い抜きました。令和2年11月四国選抜ホッケー大会は地元開催となりました。コロナ感染防止のため、観客は3年生の保護者だけ可で競技役員も必要最低限の人数で行いました。徳島県からは阿南光高校が大会に参加し準決勝では香川中央高校に6-0で快勝しました。決勝戦は高松東高校に1-0で勝利を収めました。全国大会の有無もわからない状況の中、進路決定と両立しながら頑張った3年生は本当によくやったと感心します。また、公式戦や練習試合の経験も少ないなか、前進した2年生・1年生の試合以外を含めてのチームワークがあったからこそその結果だったと思います。四国のチャンピオンとして12月の全国選抜に挑みます。1回戦から強豪校飯能南と対戦しますが、例年以上に結果が楽しみです。

最後に、四国インターハイホッケー競技(徳島県開催)を2年後に控えているにも関わらず、コロナの影響で思うような強化を進めることができない現状です。焦る気持ちもありますが、目標を見据え目の前にあることを一つ一つ、しっかりと取り組んでいくことが大切だと感じています。今年は、例年以上に中学生がホッケー教室に男女とも参加してくれています。啓発・普及から強化に繋げ、徳島インターハイを契機にし、男女ともにホッケー強豪県の徳島が、多くの来県者で賑わうことを目指し、ベストを尽くしていきたいです。

最後に、四国インターハイホッケー競技(徳島県開催)を2年後に控えているにも関わらず、コロナの影響で思うような強化を進めることができない現状です。焦る気持ちもありますが、目標を見据え目の前にあることを一つ一つ、しっかりと取り組んでいくことが大切だと感じています。今年は、例年以上に中学生がホッケー教室に男女とも参加してくれています。啓発・普及から強化に繋げ、徳島インターハイを契機にし、男女ともにホッケー強豪県の徳島が、多くの来県者で賑わうことを目指し、ベストを尽くしていきたいです。

